

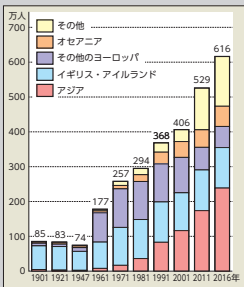
デジタル教科書指導案／地理的分野

1. 題材 p.124-125 移民の歴史と多文化社会への歩み
2. 目標 (1) オセアニア州の歴史を理解し、移民の出身国が変化してきていることを資料から読み取り、理解できる。
(2) オセアニア州の多文化社会への歩みを、歴史的経緯や先住民との関わりから考察できる。

3. 章・節の評価規準例につながる指導のポイント

評価との関連	指導のポイント
知識・技能	・町並みや宗教、言語などにみられるオセアニア州の植民地支配の歴史を理解している。 ・移民の出身国が多様化してきた理由と多文化社会への取り組みを理解している。
思考・判断・表現	・オーストラリアとニュージーランドの多文化社会への歩みやその重要性について、歴史的背景を踏まえて考察し、表現している。

4. 指導過程

	学習内容・学習活動	資料・発問	留意点(○)・指導のポイント(◆)
導入	1. 「植民地時代のなごりを残すヨーロッパ風の駅舎」を題材にし、本時の課題をつかむ。 2. なぜ、ヨーロッパ風の建物がオーストラリアで見られるのか予想し、学習課題への見通しを持つ。	 p.124 1 写真から気付いたことを挙げてみよう。 なぜ、ヨーロッパ風の建物がオーストラリアで見られるのだろうか。	○ オーストラリアに建てられたヨーロッパ風の駅舎の写真を見せながら、本時への導入を図る。 ○ ヨーロッパ風の建物がオーストラリアにある理由を予想させ、自由に発表させる。 ○ 「学習前の予想」へ記入させ、本時の学習展開の見通しを持たせる。
学習課題：オーストラリアやニュージーランドをはじめとするオセアニアの社会は、どのような人々によって成り立っているのだろうか。			
展開	3. ヨーロッパの植民地が多かったオセアニアは、多くの移民によって開拓されたことを理解する。 (1) 植民地支配の歴史 (2) 移民の増加と出身地の変化	 オーストラリア ニュージーランド ツバル フィジー p.124 3 これらの国旗にはどのような共通点があるだろうか。また、なぜそのような特徴がみられるのだろうか。  p.124 4 グラフからどのようなことが読み取れるだろうか。	○ 提示された国々の国旗の共通点を考えさせる。 ◆ イギリスの国旗が描かれていることに気付かせ、かつては植民地であったことに気付かせる。 ○ サモアやパラオなど、イギリス以外の植民地支配を受けた国があることにも留意する。 ○ オーストラリアの移民の出身地の変化を読み取らせる。 ○ 1970年代に白豪主義が廃止された影響に留意する。 ◆ 移民の総数が増加し、特にアジアからの移民が増えていることに気付かせる。

4. オーストラリアやニュージーランドで行われている多文化社会に向けた取り組みを理解する。

(1) 先住民の文化



p.121 6



p.125 6 (上)

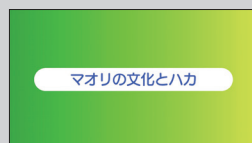
オーストラリアとニュージーランドの先住民をそれぞれ何といいますか。



p.125 6 (上)



p.125 6 (下)



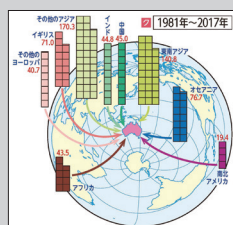
「マオリの文化とハカ」

写真からどのようなことがいえるだろうか。



p.125 7

教室の様子から分かることを挙げてみよう。



地図帳 p.76 ㊦

オーストラリアでは、どのような社会が形成されているのだろうか。

◆ オーストラリアの先住民はアボリジニ、ニュージーランドの先住民をマオリとよばれていることを理解させる。

◆ マオリ伝統の踊りを、国を代表するチームが踊っていることから、国家として先住民の文化を尊重していることに気付かせる。

○ マオリの言語はニュージーランドで公用語となっていることの意味を考えさせる。

○ 多文化社会への取り組みを理解させる。

◆ 日本語の文字が掲示されていることに気付かせ、オーストラリアでは、先住民の文化だけでなく、さまざまな国の文化や言語が尊重されていることを理解させる。

○ 地図帳を活用し、世界中から移民が来ていることに気付かせ、多文化社会の意義に気付かせる。

5. 本時のまとめをする。

オーストラリアやニュージーランドにおける、多文化に配慮した取り組みを説明しよう。

6. 学習課題への振り返りの活動を行う。

「学習後の振り返り」の欄に記入してみよう。

◆ オーストラリアではテレビやラジオでの多言語放送や外国語教育に力を入れる取り組み、ニュージーランドではマオリの言語を公用語にし、国会で議席を確保する取り組みなどが行われていることを説明できたか確認する。

○ 「学習後の振り返り」へ記入させ、「学習前の予想」と比較させる。